

# Minami Kyushu University Syllabus

| シラバス年度         |  | 2024年度 | 開講キャンパス | 都城キャンパス | 開設学科 | 子ども教育学科 |    |                |   |  |
|----------------|--|--------|---------|---------|------|---------|----|----------------|---|--|
| 科目名称           | 国語   |        |         |         |      | 授業形態    | 講義 |                |   |  |
| 科目コード          | 750080   | 単位数    | 2単位     | 配当学年    | 2    | 実務経験教員  |    | アクティブ<br>ラーニング | ○ |  |
| 担当教員名          | 藤本 朋美  |        |         |         |      |         |    | ICT活<br>用      | ○ |  |
| 授業概要           | <p>この授業の目的は、小学校国語科の内容について理解・習得することです。<br/>                     小学校国語科では、子ども達の言語生活に基づきながら、国語力を育成していく必要があります。国語力は「基盤的言語力」「文脈的言語力」「主体的関与」の三要素から構成されます。<br/>                     授業では、この三要素を視点として、小学校国語科で扱う内容について学びながら、言語活動を通じた学習の重要性について考えます。</p>   |        |         |         |      |         |    |                |   |  |
| 関連する科目         | 事前に「言葉と文章」を受講しておくことが望ましい。<br>履修後に「教科教育指導法（国語）」を受講することが望ましい。  |        |         |         |      |         |    |                |   |  |
| 授業の進め方<br>と方法  | 毎回の授業において、演習形式の授業を行います。1回の授業構成は次のとおりです。<br>授業の前半では、各テーマについての講義や教材文の分析を行います。<br>【知識・理解の獲得、確認】<br>後半ではグループディスカッション等にて、前半の学びを深めます。<br>必要に応じて、レポートや小テストにより学習状況を確認します。<br>【知識・理解の獲得】【汎用的技能の育成】<br>毎回の授業終了時には「学習の記録」を書き、自身の学びについて振り返ります。<br>【態度・志向性の育成】<br>なお、毎時間後に作成する学習の記録はWeb上で作成し、学習進捗の確認及びそのフィードバックを行います。<br>講義資料の提示・課題の提出は、ユニバのクラスプロファイル上でを行います。 |        |         |         |      |         |    |                |   |  |
| 授業計画<br>【第1回】  | 国語力とは何か<br>国語力を構成する要素について確認し、伝え合いの仕組みと国語力について考えます。   |        |         |         |      |         |    |                |   |  |
| 授業計画<br>【第2回】  | 文字と表記 ①平仮名と片仮名<br>日本語表記に用いる文字の種類とその由来（歴史）について学びます。   |        |         |         |      |         |    |                |   |  |
| 授業計画<br>【第3回】  | 文字と表記 ②漢字<br>日本語表記に用いる文字の種類とその由来（歴史）について学びます。  |        |         |         |      |         |    |                |   |  |
| 授業計画<br>【第4回】  | 文字と表記 ③文字を書くこと<br>日本語表記に用いる文字の種類とその由来（歴史）について学びます。   |        |         |         |      |         |    |                |   |  |
| 授業計画<br>【第5回】  | 小学校学習指導要領 国語編<br>国語科のあり方と学習指導要領について学びます。   |        |         |         |      |         |    |                |   |  |
| 授業計画<br>【第6回】  | 語彙力・文法力<br>基盤的国語力としての語彙力および文法力（接続表現、指示）について学びます。   |        |         |         |      |         |    |                |   |  |
| 授業計画<br>【第7回】  | 音声言語力<br>基盤的国語力としての音声言語力について学びます。  |        |         |         |      |         |    |                |   |  |
| 授業計画<br>【第8回】  | 「読むこと」 ①文学的文章／文脈的理解<br>「読むこと」について、教材文の種類別に、主体的関与および文脈的理解について学びます。  |        |         |         |      |         |    |                |   |  |
| 授業計画<br>【第9回】  | 「読むこと」 ②文学的文章／主体的関与<br>「読むこと」について、教材文の種類別に、主体的関与および文脈的理解について学びます。  |        |         |         |      |         |    |                |   |  |
| 授業計画<br>【第10回】 | 「読むこと」 ③説明的文章／文脈的理解<br>「読むこと」について、教材文の種類別に、主体的関与および文脈的理解について学びます。  |        |         |         |      |         |    |                |   |  |

|                     |   |
|---------------------|---|
| 授業計画<br>【第11回】      | 「読むこと」 ④説明的文章／主体的関与<br>「読むこと」について、教材文の種類別に、主体的関与および文脈的理解について学びます。   |
| 授業計画<br>【第12回】      | 「書くこと」 ①主体的関与<br>「書くこと」と国語力について学びます。  |
| 授業計画<br>【第13回】      | 「書くこと」 ②文の種類<br>「書くこと」と国語力について学びます。   |
| 授業計画<br>【第14回】      | 「話すこと」 ①主体的関与<br>「話すこと」と国語力について学びます。  |
| 授業計画<br>【第15回】      | 「話すこと」 ②国語力<br>「話すこと」と国語力について学びます。  |
| 授業の到達目標             | 1. 小学校国語科の教育内容が理解できる。<br>【知識・技能の育成】<br>2. 国語力について「基盤的言語力」「文脈的言語力」「主体的関与」の点から整理して考えることができる。<br>【汎用的技能の育成】<br>3. 自身の話す・聞く・読む・書くなどの基本的能力向上のため、意欲的に取り組むことができる。<br>【態度・志向性の育成】 |
| 学位授与の方針<br>(DP)との関連 | 1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)  |
| 授業時間外学習【予習】         | 授業時に予習教材を提示します。次の授業までに確認してください。(1時間程度)  |
| 授業時間外学習【復習】         | 授業後には、授業の要点を整理するとともに、「学習の記録」に自らが記した「問い」について、関連した図書・資料などを読み、自身の考えを深めてください。(30分程度)  |
| 課題に対する<br>フィードバック   | 小テスト・レポート・最終試験は、評価後、解説します。  |
| 評価方法・基準             | 学習への意欲的な取り組み(学習の記録) 30点<br>レポート 20点<br>最終試験 50点   |
| テキスト                | 『小学校学習指導要領解説 国語編』文部科学省  |
| 参考書                 | 『国語教育の新常識-これだけは教えたい国語力』森山卓郎・達富洋二編著(2010)明治図書、(1,600円+税)<br>その他必要に応じて図書、資料を紹介します。  |
| 備考                  |   |